

関西から「キーパーソン」と考える、 次世代の地域活性化

KEY PERSON

本イベントでは、その地域の持続可能な発展のため、地域で活動する「キーパーソン」と呼ばれる人々に着目し、「キーパーソン」の視点で地域の活性化を考えていきます。地域の活性化を促すための課題や自治体(地域)に求められるものなど、地域での活動がうまくいくヒントについて、近畿内外の若き「キーパーソン」や自治体職員等を交えて、全3回にわたって考えていきます。

第3回では、近畿内外で活躍するスピーカーと自治体職員をお招きして、それぞれの取組をご紹介いただいた後、キーパーソンの力を最大限発揮しつつ、地域活性化を推進するために必要なことを、キーパーソンと自治体職員の視点から一緒に考えていきます。

(※)ご参考:昨年度近畿経済産業局事業「キーパーソンの要件・要素及び若手人材発掘調査事業」 <https://www.kansai.meti.go.jp/1-9chushoresearch/keyperson/keypersonprofile.html>

3RD SEMINAR 2022.3.10 THU | ONLINE | 13:30-16:30

PROGRAM スピーカー(3名)による取組紹介(各20分程度)、自治体職員(2名)による取組紹介(各20分程度)、登壇者によるディスカッション(70分)

SPEAKER 1 HIROKI KANAYAMA

株式会社シカケ
代表取締役

金山 宏樹 氏

自治体職員 YAYOI OOGAKI

奈良県生駒市
広報広聴課 課長

大垣 弥生 氏



大阪・東京で営業職を経て2012年「(株)うずのくに南あわじ」入社。あわじ島バーガー、白い海鮮丼、うにしゃぶなどのメニュー開発のサポートや人の意識改革に取り組み、道の駅うずしお等の経営を再生。2017年に株式会社シカケを創業。2018年には(一社)全国道の駅支援機構をメンバーと立ち上げ、同機構の理事も務めながら各種施設・飲食店の仕掛けづくり等のサポートに奔走している。



百貨店の販売推進部門を10年間担当後、2008年生駒市に入庁し、広報紙改革や採用広報等を担当。プロモーションサイト「good cycle ikoma」や市民PRチーム「いこまち宣伝部」、森の中のマルシェ「IKOMA SUN FESTA」等を通じてまちの魅力発信につとめると共に、多様な働き方や生き方を提案する「スタイリングウィーク」の開催など、人が出会い、緩やかにつながる場をつくる。2020年から現職。2017年「地方公務員が本当にすごいと思う地方公務員アワード」を受賞。

SPEAKER 2 YUTA HAMADA

株式会社ローカルフラッグ
代表取締役

濱田 祐太 氏

自治体職員 KYOSUKE AOTSU

福島県西会津町
商工観光課 副主査

青津 京介 氏



京都府与謝野町出身。2019年7月、関西学院大学在学中に、(株)ローカルフラッグを立ち上げ、京都府与謝野町を中心に、若者によるチャレンジ(起業・事業承継等)を促進して、地域の雇用や地域課題解決につなげるべく挑戦中。2020年秋には、地元産ホップを使用したクラフトビールブランド「かけはしブルーイング」をリリースし、ECサイトを中心に商品販売に取り組む。



福島県西会津町出身。大学卒業後、都内の企業を経て西会津町にUターンし、西会津町役場に入庁。仲間と共に、集落を丸ごと貸し切った住民と若者による「DEEP集落鬼ごっこ。」、自然音の世界発信、西会津と首都圏の若者をつなぐ集落再生プロジェクトに取り組む。プライベートでは、内閣府青年海外派遣事業参加、ASEAN青年との国際交流、進化思考研究所、西会津辺境塾で活動。最近の関心は、複業人材、空き家改修、土地の記憶。

SPEAKER 3 RYU YANAGISAWA

一般社団法人ドチャベンジャーズ
代表理事

柳澤 龍 氏

FACILITATOR HARUKA NAKAGAWA

NPO法人チュラキューブ 代表理事
株式会社GIVE&GIFT 代表取締役

中川 悠 氏



東京大学大学院を卒業後、IT企業(株)ガイアックス入社。2014年秋田県五城目町へ移住し、地域おこし協力隊に着任。「五城目町地域活性化支援センターBABAME-BASE」を拠点にシェアビレッジの立ち上げに参画。2017年町内の土着企業等が集まり(一社)ドチャベンジャーズを設立し代表理事に就任。「世界一子どもが育つ町」に向けたまちづくり等に尽力している。



精神科医療機関を経営する母方の祖父、義肢装具の開発をする父をもつ。関西の情報誌の編集業を経て、株式会社・NPOを起業。さまざまな切り口で情報や地域資源を編集することで、地域コミュニティ・障がい者福祉・農業・伝統工芸など、社会課題の解決を目的とした幅広いプロジェクトを推進している。「淡路島日本遺産」、漁港の情報発信「SU!」、伝統工芸×福祉「伝福連携」、空き家×福祉「杉本町みんな食堂」など。2016・2019年度のグッドデザイン賞を2度受賞。関西大学、近畿大学、大阪芸術大学ではソーシャルデザインの講義を担当。教育分野でも精力的に活動を行っている。

GRAPHICER グラフィックター：調整中

申込方法 下記サイトよりお申し込みください。

https://dan-dan.com/keyperson_seminar03/

(申込締切:2022年3月9日)



対象 自治体、支援機関、各地のキーパーソン他

参加費 無料

お問い合わせ先 事務局(株式会社ダン計画研究所内) 担当: 椎本・河野・城野

TEL: 06-6944-1173 (平日10時~17時) E-mail: kp-seminar@dan-dan.com